

Compact Cool キット 取扱説明書

(3-FIN)

製品番号 07-07-0280

適応車種 CBR250R (MC41-1000001 ~ 1399999)

取り付けマウント位置：ラジエーター下
オイル取り出し位置：オイルフィルターカバー
ホース：ラバーホース

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
- ◎フロントフォークの突出量を変更する事により、オイルクーラーがボトム時、フロントフェンダーに接触する可能性があります。突出量を変更する際は必ず確認を行って下さい。

～特徴～

- 専用オイルフィルターアダプターを用いる事で、オイルクーラーへのオイル取り出しが可能となります。
又、オイルフィルターアダプターにはサーモスタットユニット（別売）を取り付ける事が出来る為、オーバークールを防止し油温を一定に保つ事が出来ます。
- 風の通りを考慮し、ラジエーター下にコンパクトクーラーオイルクーラーを設置する事で冷却効果を向上させます。
オイルクーラーステーはステンレスを使用し、オイルクーラーホースは耐久性の高いラバーホースを使用しています。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。（エンジン損傷の原因となります。）

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容

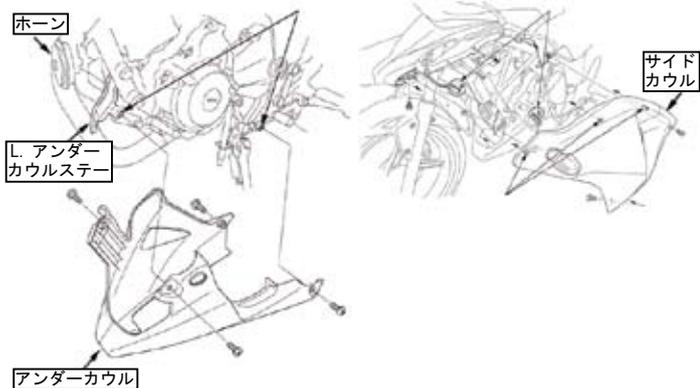


番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	コンパクトコア (3-FIN)	1	00-07-0124
2	L. オイルクーラーステー	1	00-07-0192
3	R. オイルクーラーステー	1	
4	ホーンステー	1	55303-KYJ-T00
5	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018 (1000mm)
6	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
7	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0106 (10ヶ入り)
8	ブレンワッシャ 6mm	4	00-00-0086 (10ヶ入り)
9	フランジUナット 6mm	2	00-00-0091 (6ヶ入り)
10	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
11	バンジョー 10mm(ストレート)	2	00-00-1433
12	バンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0122 (シーリングワッシャ付)
13	バンジョー M12	2	00-07-0127
14	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
15	クッションラバー	2	00-00-0099 (4ヶ入り)
16	カラー	2	00-00-0476
17	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20	2	00-00-0084 (5ヶ入り)
18	ソケットキャップスクリュー 6x35	2	00-00-0724 (5ヶ入り)
19	フランジナット 6mm	1	00-00-0173 (6ヶ入り)
20	オイルフィルターアダプター	1	_____
21	ラバーセパレーター	1	12332-KYJ-T00
22	カラーパイプ	1	_____
23	サーモスタットホールキャップ	1	00-07-0063 (0リング付)
24	オイルホールプラグ	1	00-02-0391
25	Oリング 15mm	1	00-00-0185 (5ヶ入り)
26	Oリング 55mm	1	00-00-0095 (2ヶ入り)
27	フランジボルト 6x30	1	00-00-0463
28	結束バンド 150mm	2	00-00-0135 (10ヶ入り)
29	ラバープレート (両面テープ付)	1	00-00-0474

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

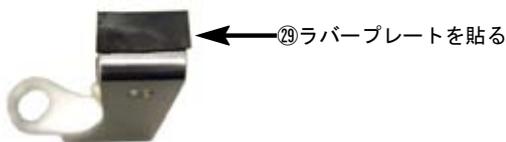
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○サイドカウル及びアンダーカウル、ホーン、L. アンダーカウルステーを取り外します。



○②L. オイルクーラーステー、③R. オイルクーラーステーの写真と同じ部分に⑳ラバープレートをそれぞれ取り付けます。

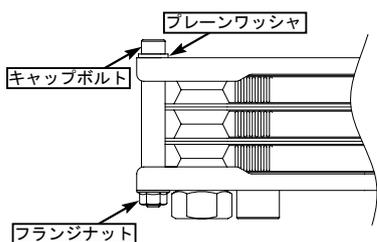
※ラバープレートは半分にカットし、貼り付けて下さい。
 ※ステー貼り付け部は必ず脱脂を行ってから貼り付けを行って下さい。
 (油分が存在すると粘着力が低下し、剥がれ易くなります。)



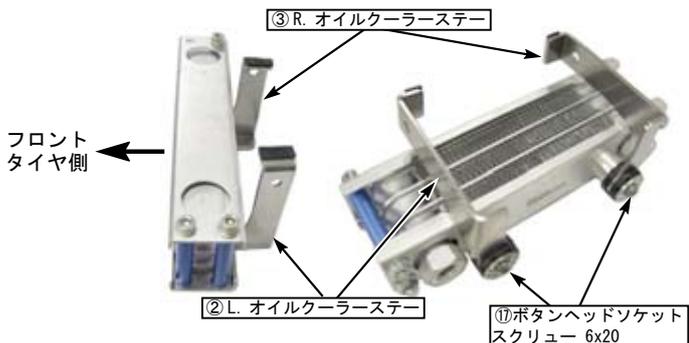
○②L. オイルクーラーステー、③R. オイルクーラーステーに⑮クッションラバーを取り付け、取り付けした⑮クッションラバーに⑯カラーを取り付けます。



○オイルクーラープレートサイドのキャップボルトとフランジナットを上下反対にマウントします。

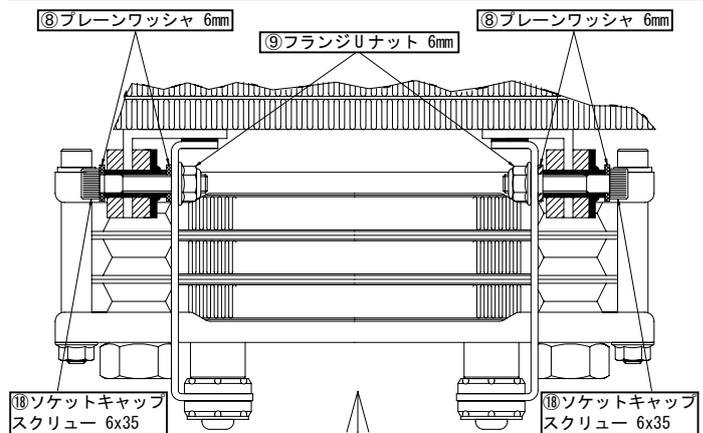


○①コンパクトクーラー (以下オイルクーラー) に先ほど組み付けた②L. オイルクーラーステー、③R. オイルクーラーステーを⑪ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を使用し、仮付けします。



○ラジエーター下の穴部に図を参考に②L. オイルクーラーステー、③R. オイルクーラーステーを取り付けます。
 ※締め付ける際、必ず上 (ラジエーター側) に押し上げて取り付けして下さい。
 ※必ずエンジン、マフラー冷間時に行ってください。
 この取り付け図はエンジン側からの視点図です。

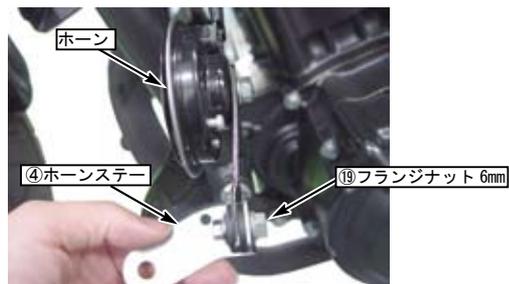
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 ソケットキャップスクリュー
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



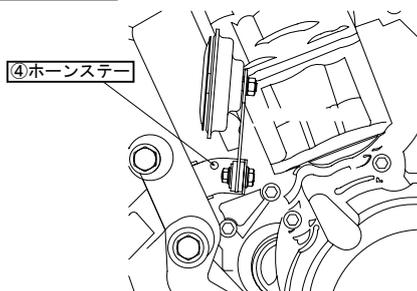
上に押し上げながら固定

○取り外したホーンに④ホーンステーを取り付けます。
 ※取り付けの際にはキット付属の⑲フランジナット 6mm と車体についていたフランジボルトを使用して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 フランジナット / フランジボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○取り付けが完了すればフレームとL. アンダーカウルステーの間に④ホーンステーを挟み込み締め付けます。
 ※アンダーカウルステーを締め付ける際、アンダーカウルを仮付けし、位置が合っているか確認して下さい。(仮付け無しに行くと取り付け位置によってはアンダーカウルが取り付け難い場合があります。)
 ※ホーンステーの空いている穴が上側になり、フレームとエンジンの間にホーンが付く様に取り付けて下さい。
 ※取り付けが完了すればホーンの配線を接続します。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●オイルフィルターアダプターの取り付け

○エンジン下にオイル受けなどを用意します。

純正のオイルフィルターカバーのボルト4本を取り外し、オイルフィルターカバー・オイルフィルター・オイルフィルタースプリング・ガスケットを取り外します。

※取り外した部品は、紛失しない様に保管して下さい。

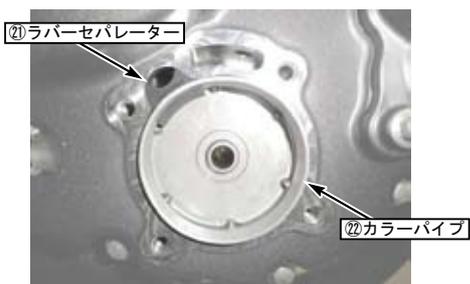
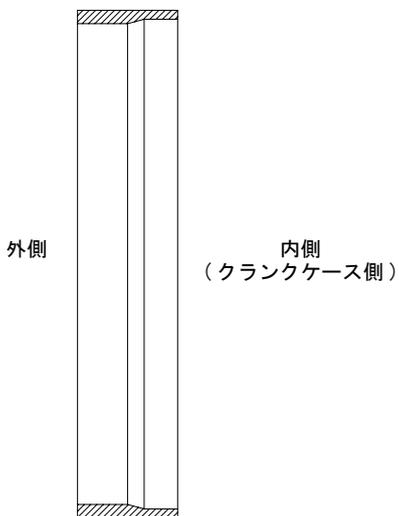
▲注意：カバーのボルトを緩めると、エンジンオイルが流れ出ますので、必ずオイル受けなどを用意してから作業を行う事。



○キット付属の⑳オイルフィルターアダプターに、㉖Oリング55mmと純正のオイルフィルタースプリングを取り付けます。



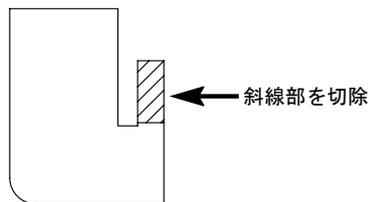
○車両クランクケース側オイルフィルター部を清掃し、㉑ラバーセパレーターをロゴが上になる様に取り付け、㉒カラーパイプを図の向きに合わせ、㉑ラバーセパレーターの溝に合うように取り付けます。



※純正オイルフィルターを交換した際に写真のようなツバが付いた形状の場合は、㉑ラバーセパレーターの切除及びオイルフィルターと㉒カラーパイプの取り付け順序が変わります。

㉑ラバーセパレーターは、図を参照して、切除を行って下さい。

0.5～1mm程度切り残すと㉒カラーパイプが取り付けやすくなります。クランクケース側への取り付け順序は、切除した㉑ラバーセパレーター→オイルフィルター→㉒カラーパイプの順番で取り付けを行って下さい。



○ガスケットを取り付けます。



○㉖オイルフィルターアダプターの㉖Oリング55mmとスプリングが脱落しないように注意しながら、車両に取り付けます。下図中、黒矢印部分のボルトは純正のオイルフィルターアダプターを固定していたフランジボルト6x25を再使用し、白矢印部分は、キット付属の㉗フランジボルト6x30を使用します。

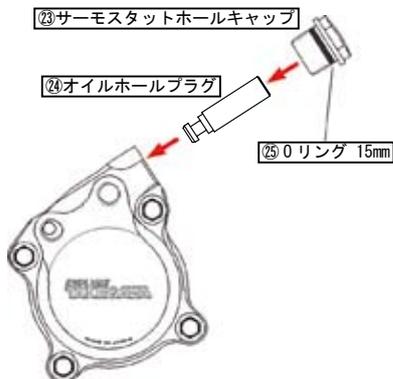
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



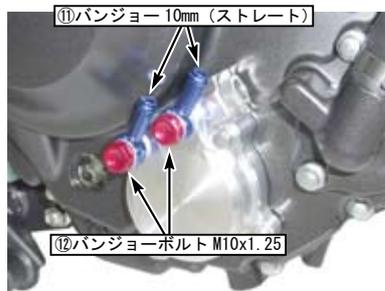
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○取り付けした⑳オイルフィルターアダプターに㉑オイルホールプラグを差し込みます。
 ㉓サーモスタットホールキャップの溝部に㉕Oリング15mmを取り付け、Oリング部分に薄くオイルを塗布してから、㉑オイルホールプラグを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 オイルホールプラグ
 トルク：15N・m (1.5kgf・m)



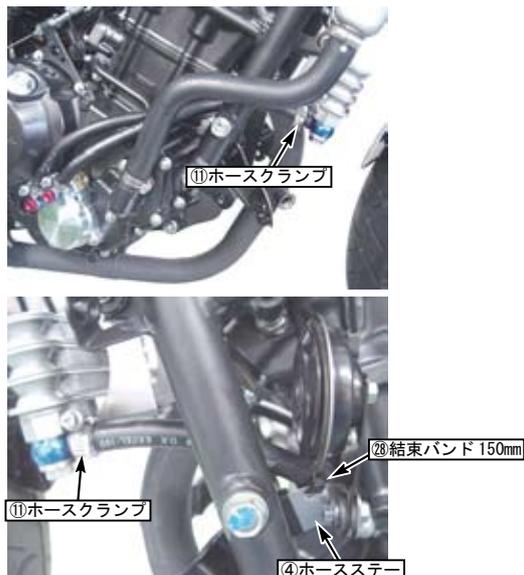
○㉒バンジョーボルト M10x1.25 に、㉗アルミシーリングワッシャ 10mm・
 ㉙バンジョー 10mm (ストレート) ・㉚アルミシーリングワッシャ 10mm の順に通し、㉑オイルフィルターアダプターにそれぞれ仮付けします。



○オイルクーラーも同様に㉔バンジョーボルト M12x1.0、㉖アルミシーリングワッシャ 14mm、㉛バンジョー M12、㉞アルミシーリングワッシャ 14mm を左右に仮付けします。

○図を参考に㉑オイルホース 1000mm を適切な長さにカットし、バンジョーへ取り付け㉟ホースクランプで固定します。

※L側オイルホースは結束バンドをホースステー穴に通し固定して下さい。
 ※必ずエキゾーストパイプと干渉しない位置で取り回しを行って下さい。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 バンジョーボルト M12
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)
 締め付け時クーラーのヘッダー (6角部分) に必ずスパナを掛ける事。
 バンジョーボルト M10
 トルク：14N・m (1.4kgf・m)

○取り外したサイドカウル及びアンダーカウルを取り付けます。
 この際、右アンダーカウルとオイルフィルターアダプターのバンジョーが干渉する場合は、必要に応じてカウルを削って下さい。



○エンジンオイルを 40cc 程度追加し、エンジンを始動します。
 各部分からのオイル漏れが無い事を確認し終わったらエンジンを止め、オイルポッドウィンドでオイル量を確認し、規定内かどうか確認して下さい。

▲警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
 密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
 (一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)